

活動名	居場所の運営を通じた子育て・子育て支援	団体名称	特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	④子どもの居場所づくり

■申請書の活動概要<150~200字>	■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
長野市中心市街地に様々な悩み(保護者の病気、生活困窮、ひとり親等)を持つ保護者や子ども達が気軽に通い、「相談や交流」「学習支援」「食事支援」等が受けられる複数の機能を持った居場所「ながのこどもわくわくカフェ」を開設する。運営は、地域の商店街や高齢者、行政等専門機関と連携して行い、安心して安全に子育てができる環境や、子どもが健やかに成長できる体制・ネットワークづくりをする。	2017.8~隔月 2017.8~随時 2017.9~2018.3	運営委員会の設立・運営 【広報・募集体制の整備】 小学校2校・各校3回チラシ配布、中学校1校・1回 タウン誌 広告掲載・3回、記事2回掲載 【ながのこどもわくわくカフェの運営】各14回開催 □ 子育て中の保護者の居場所「ピーカーぶー」の運営 □ こどもカフェの運営(学習支援、食事提供、悩み相談) □ 思春期相談の運営

■活動目標
様々な悩みを持つ保護者や子ども達が気軽に通い、「相談や交流」「学習支援」「食事の提供」等が受けられる居場所をつくり、地域、行政、専門機関と連携して運営を行うことにより、子ども達が健やかに成長できる環境・体制・ネットワークを形成する。

■長期成果
1 子育て中の保護者や子ども一人ひとりのニーズに合った支援を行うことができ、孤立を解消し、負担の軽減が期待される。
2 学童期以降の子どもは、社会性が育まれ、食事や家庭学習もある程度満たされることによって、将来への展望も開け、自信を持ち、「自己肯定感」を持って健やかに成長していくことができる。

■活動風景



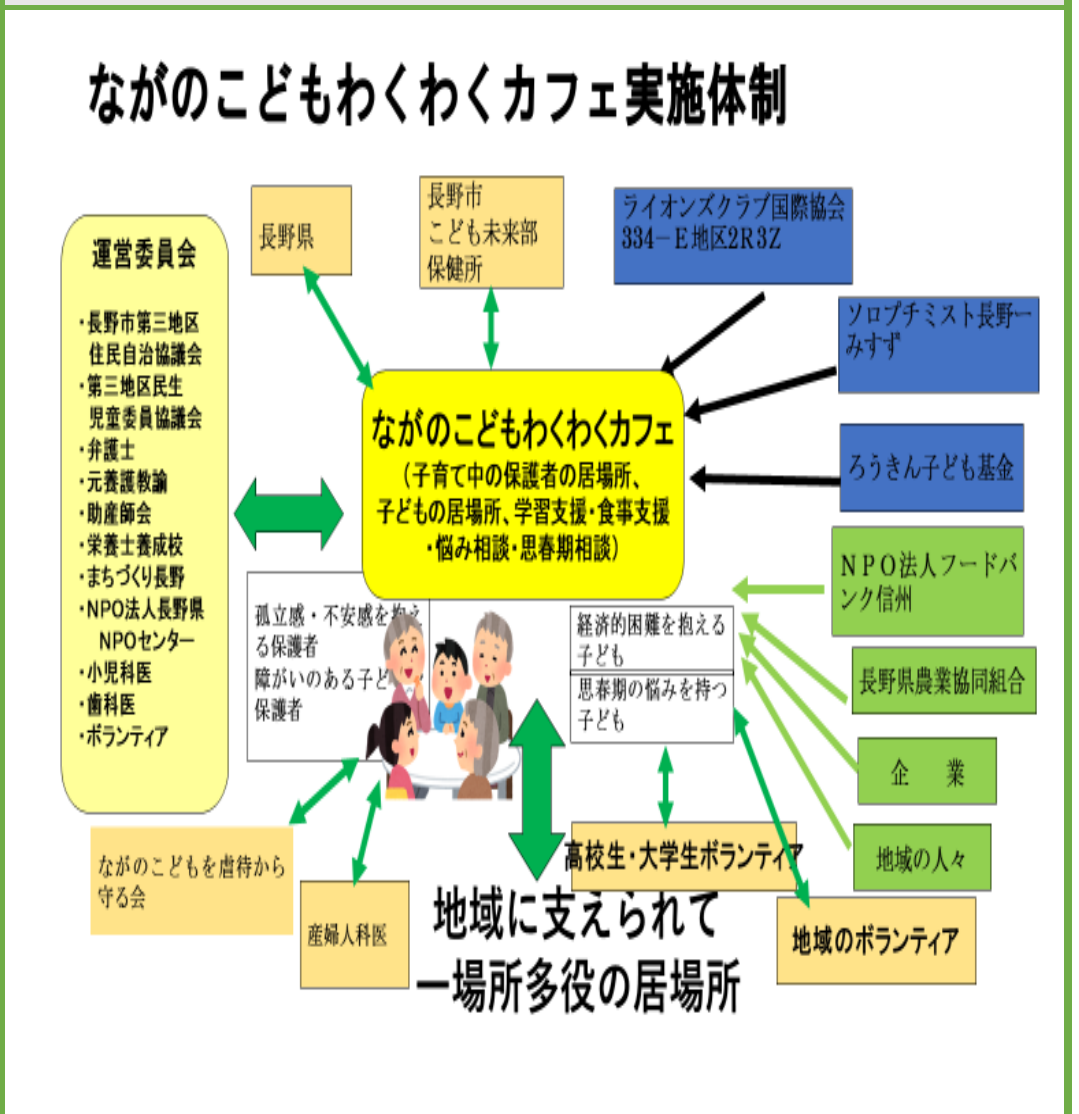
ハンドマッサージでほっと一息、思わずにっこり わらべ歌とふれあい遊びで親子の触れ合い！
みんなで食べることは楽しいね。短大生のお姉さんからの食育講座 フードバンクさんからの提供食材で春休みスペシャルランチ！
継続は力なり、インフルエンザ以外欠席なしです。わからないところを高校生のお姉さんに教えてもらって！

■上期の成果と下半期に向けた改善点

【上半期の成果】
《子育てサロン ピーカーぶー》
参加者が少なかったため、テーマを決めてサロンを開催したところ、実施後のアンケートでは、参加者の100%が満足の回答をし、また参加者増にもつながった。
《学習支援》
継続して訪れる子どもが多く、ボランティアとの距離が縮まってきたことから、学校生活や家庭での悩みごとを話す場面が少しずつ見られるようになった。そのことが起因して、継続な活動につながっていると思われる。
《食事支援》
・喫食状況は、全員、毎回完食で、アンケート調査でも満足が100%の回答があり、「みんなと食べるとおいしい。いろんな学校の人や学年の人と話ができてうれしかった」「久しぶりに食事らしい食事がとれ、元気が出た」等、子どもや保護者にとって楽しみの時間となっている。
・食材は、フードバンク信州と連携し必要な食材を調達。平成30年3月までのフードバンク信州からの食材の調達状況は、通算59品目であり、献立における利用率は平均54.3%で、購入食材経費は、1回平均2000円位となり、有効な連携活動となっている。
《思春期相談 ティーンズ相談室》
相談者を待つだけでなく、積極的に声がけをしたことにより、悩みを打ち明ける中高生の増につながった。また、本活動の趣旨に賛同する養護教諭から研究会等で周知していただいた。

【下半期に向けた改善点】
・引き続き託児ボランティアの確保に努め、保護者がホットできエンパワーされる支援をする。
・継続参加の子どもたちが、意欲的に学習にも取り組み、学力向上も図られるような工夫をし、「自己肯定感」を高めたい。
・相談室でなく「ティーンズ かふえ」等名称変更し、入りやすく、心身の不調等を訴えやすい環境・雰囲気づくりをする。

■実施体制



〒381-0043 (住所)長野市吉田1-7-4 (団体名)特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト (ホームページ): http://www.na-kodomo.com	助成金額	700,000円
	助成期間	H29.9.1~H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。